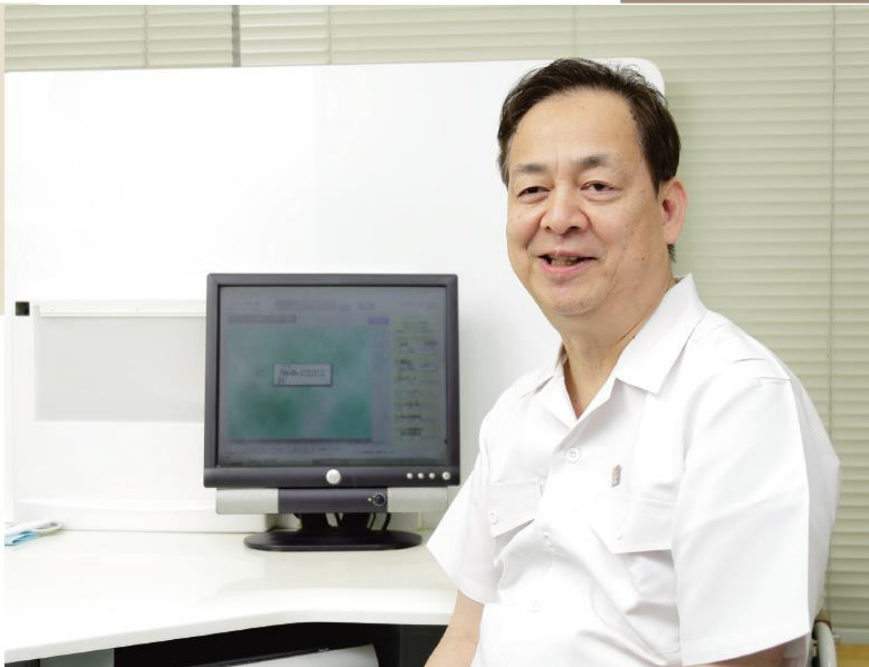


スタッフから見た先生

◆妥協せず、患者さんが納得のいく治療を行っています。中途半端を良しとしない、自分自身に対してストイックな先生です。◆最新の知識を治療に取り入れるために、積極的に勉強会に参加しています。◆患者さんに、治療や検査の内容を丁寧に説明します。時には楽しそうに世間話に興じていることもあります。◆日本史がとにかく好きで、空いた時間に歴史・時代小説をよく読んでいるそうです。◆とてもお茶目。ユーモラスな先生です。



(上)日高先生、歯周病と再生の研究をする息子さんとスタッフの皆さん。
(下)院内感染対策も万全の診察室。吉祥寺サンロード商店街に面するビルの3階に位置する。



総合的な歯科診療で天然歯維持に貢献
3つの専門医資格を有する歯科医

院長 日本口腔インプラント学会専門医

日高 敏郎先生

【ひだか・としろう】鹿児島県出身。東京歯科大学卒業。昭和59年に同院開設。天然歯を維持するための包括的な歯科医療を提供。インプラントのキャリアは約30年。アメリカのバンキー研究所にて数回にわたる研修も経験している。◆医学博士 ◆日本歯周病学会専門医 ◆日本顎関節学会専門医



TOPICS 歯科領域全般に精通した
全国でも稀なトリプル専門医

歯周病・顎関節・インプラントの専門医資格を所持する日高先生。この3つの資格を所持するドクターは、全国でも極めて希少。歯科医療全般に精通しているエキスパートとして、どの治療においても十分な診査の上で精密な治療を行い、健康な口腔機能の回復・維持に貢献している。予防から治療後のメンテナンスに至るまで、一貫して高度な診療を実践できるのが強みだ。



歯周病、インプラント、咬み合わせといった、歯科領域全般に精通した日高先生。包括的な歯科診療により、全国平均に比べ高い天然歯維持率を誇る。

モットーは、予防から口腔機能の回復までを網羅する包括的な歯科診療です。単に1本の虫歯を治すだけでなく、日常のお手入れ方法も指導し、天然の歯を長く持たせることができるよう尽力しています。

虫歯・歯周病・咬み合わせの3つのポイントを押さえれば、歯が抜けるようなトラブルは未然に防ぐことができます。当院では、虫歯や歯周病については、最新機器を用いた光殺菌などを駆使して精密に治療します。また、詰め物や被せ物などで咬み合わせがずれると、歯ぎしりで歯を傷めたり、顎関節症や肩こりが生じることもありますので、きちんとコントロールします。虫歯と歯周病をきちんと治療

し、咬み合わせを正しくすることで、歯を一生持たせることが可能になります。実際に、国内の40〜50代では10年間で平均2本の歯を失う」というデータがありますが、当院の患者さんの平均値は2分の1本。全国平均に比べ、4倍も高い維持率となっております。

実績32年のインプラント治療は、院内CTで正確な診査をした上で、安心・安全な治療を行っています。たとえば、患者さんの血液を使って治療のスプリードを早める再生治療（PRF法）や、骨を厚くするサイナスリフトを行う際に痛みや腫れを最小限に止めるクリスタルアブローチ法を採用しています。

一般の方ももちろん、医師の先生方が患者さんとして多いのも当院の特徴のひとつです。今後も、たくさんの方のお口の健康に貢献できるよう、努力を続けていきたいと思います。

日高歯科医院

☎0422-21-4118

武蔵野市吉祥寺本町1-9-8
アソルティ吉祥寺本町ビル3階
<http://www.hidakashika.com/>

➔ 専門医による適切な インプラント治療とは

虫歯、歯周病や咬み合わせなど、口腔内のトラブルで歯を失った際、チタンの人工歯根を顎の骨に埋め込み、その上に被せ物をするインプラント治療。施術後は、見た目や食べ物の噛み心地が、天然の歯とほぼ変わらないレベルまで回復します。

インプラント治療の前に

土台となる口腔環境作りが大切
インプラント治療は、天然の歯の代用となる人工歯根および人工の被せ物で補う治療法です。顎の骨に人工の歯根を埋めるので、入れ歯やブリッジと違いしっかりと固定されず。見た目はごく自然で、食べ物もしっかりと噛むことができます。

治療をする前には、口腔内の環境を整えることが大切です。家を建てる際に基礎工事を行うのと同様に、お口の中の土台作りからスタートします。当院では、まず初めに詳細な検査を行い、虫歯や歯周病があった場合には治療し、咬み合わせも正してからインプラント治療を始めます。歯周病を放置したままインプラントを入れても、歯周病で骨が破壊

歯茎を剥がす量が大きくなければ、それほど不安に思う必要はありません。近年、頻繁に報道されるインプラント手術中の事故は、通常のレントゲン画像のみを頼りに手術を行っている点が問題です。歯科用CTで撮影した精密・立体的な画像で、骨や血管の位置などを正確に把握してから治療を進めれば、事故が起こる確率は格段に低くなります。

インプラント治療を受ける際のドクター選びは、(公社)日本口腔インプラント学会が認定する専門医資格の有無が一つの目安になるでしょう。また、CTを撮影して治療するかどうかも確認してみましょう。私自身は専門医資格を所持し、現在は年間で約100本の手術を手がけています。患者さんから採血した血液を使い、治療箇所の免疫力や再生能力を高める治療法を導入するなど、身体への負担と痛みの少ないインプラント治療を実施するよう心がけています。クリニックにCTを完備しているという利点もあってか、近年は、一般的な歯科医療のみを行っているクリニックから、インプラ

されて人工歯根が抜けるケースがあります。また、咬み合わせがずれたままインプラントを咬ませると、周囲の歯や筋肉、顎関節をはじめ、全身に悪影響を及ぼします。咬み合わせ治療は患者さん一人ひとりによって異なりますが、大抵の場合は詰め物や被せ物の調整がメイン。咬合再構成へと導くことに力を注ぎます。

手術にも維持にも責任を持つ医療機関がベスト
インプラントは、手術をしたらそれだけで終わるわけではありません。日々の口腔ケアを欠かさず定期的なメンテナンスを行うことで、長く持たせることが可能になります。ケアやメンテナンスを怠ると、インプラントの周囲が炎症を起こしたり、インプラントそのものが抜けたりすることもあります。正しいブラッシングやデンタルフロスの使い方など、歯と口腔のお手入れを丁寧に指導してくれる医療機関がベストです。当院では、治療後にもお手入れの方法を詳細に指導。手術にも維持にも責任を持ち、10年後、20年後を見据えた治療を心がけています。

このような基礎工事をせず、いきなり手術をするような治療は避けるべきです。私は「基礎工事」を万全に行ってくれる歯科医師を選ぶことをお勧めします。

難症例にも対応できる

特別な知識、技術を持つ専門医
手術による痛みや腫れには個人差があります。けれど、骨を削る量や

インプラント治療を受ける際の チェックポイント

- 日本口腔インプラント学会認定の専門医がいる医療機関を選ぶ
- 料金や設備だけで、受診する医療機関を選ばない(特に無料相談などは注意)
- 相談の度に料金を下げてくる医療機関を選ばない
- インプラント治療だけでなく、虫歯、歯周病、咬み合わせも診てくれる医療機関を選ぶ
- お口全体の総合的な治療計画を立ててくれる医療機関を選ぶ
- 予防や術後のメンテナンスがしっかりしている医療機関を選ぶ

インプラント治療では、手術前後のメンテナンスが特に重要です。納得できる治療が受けられるよう、気になる点は、しっかりとドクターに確認しておきましょう。

解説してくれたドクターは…

吉祥寺 | 日高歯科医院
日高 敏郎先生



1980年 東京歯科大学卒業
1984年 日高歯科医院開院
●日本口腔インプラント学会専門医
●日本歯周病学会専門医
●日本顎関節学会専門医

☎0422-21-4118
武蔵野市吉祥寺本町1-9-8
アソルティ吉祥寺本町ビル3階
<http://www.hidakashika.com/>